

市民会議企画書

魚沼市まちづくり委員会の平成 27 年度活動計画に基づき下記のとおり市民会議を開催することとして準備を進めたい。

I 市民会議の趣旨及び内容

□昨年度にまちづくり委員会がファシリテータとして参加した「魚沼市まちづくり未来会議」が策定した第二次魚沼市総合計画の第 3 編 前期基本計画の第 7 章 前期基本計画重点施策の筆頭は人口減少問題対策としている。人口減少は今に始まったことではなく、その対策は国も地方も遅いとも言えるが、国が 2015 年を「地方創生元年」と位置付けていることもあり、魚沼市を始め各自治体が「地方版総合戦略」の策定作業を開始している。総合計画と総合戦略とはセットで考えるべきことでもあり、平成 28 年度から 10 年間の「魚沼市のまち・ひと・しごと創生」を考え、検討する必要がある。ついてはこのことをテーマに市民会議を開催し、まちづくり基本条例に基づき、まちづくり委員会が中立公正な立場で市民会議を開催し、行政・市民双方向に課題提起、解決策の一助となるきっかけ作りをしたい。

なお、企画政策室では人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力を維持するための「魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定市民検討委員会」(学識経験者等 14 名)を組織して、9 月 14 日の第 1 回を皮切りに 10 月下旬まで会議を数回開催し、総合戦略を策定する予定であり、まちづくり委員会からも 1 名参加要請があり、委員会に参加している。

□開催案

1. 主 催 魚沼市まちづくり委員会 (事務局 企画政策課 まちづくり室)
2. 開 催 日 平成 27 年 12 月 6 (日)
3. 開催時間 午後開催とし、概ね 3 時間程度
4. 会 場 小出ボランティアセンター (地域振興センター、文化会館は先約有)
5. 会議の内容 講師の講演のあとに川村アドバイザーからコーディネートしてもらいパネルディスカッションを行い、その後市民と意見交換する。
川村アドバイザーからは魚沼流の地方創生のヒントやアイデアを導きだしてもらおう。
6. 時間構成 講演 60 分
パネルD 70 分
質疑応答・意見交換 20 分 合計 150 分 (2 時間半～3 時間)
7. そ の 他 総合戦略をテーマとするため一般市民はもとより市職員や市議会議員、総合計画審議会委員、まちづくり未来会議参加者など多数の参加を呼び掛けるものとする。
8. 準備体制 運営委員会が幹事役となりチラシ等の広報、会場準備、後片付けなどに当たるものとした。

9. 講師 元新潟県知事 平山征夫氏

(新潟国際情報大学学長、魚沼市ものづくり振興協議会顧問)

平山氏は魚沼市が合併に至る当時の知事であり、その経過を良く知っている人であると同時に、ずっと魚沼市ものづくり振興協議会の顧問として毎年秋にはU-b i g (魚沼市ものづくり振興協議会)の全体会において講演を行っているとともに関係者との行き来も続いている。また、娘さんはクラシック(バイオリン)をやっており文化会館でコンサートを行ったこともあるなど魚沼市との関わりも深い。特に元日銀マンとして国内、国外問わず経済情勢に熟知しており、数字にも強くその話は分かりやすい。合併前の北魚沼郡の時代から知事の間から見てきた当事者として人口減少社会のこれからの魚沼市の地域産業や雇用創出、県外に向けての情報発信などを講演いただき我がまちの総合戦略を探っていく。

※前期基本計画重点施策の2番目は地域資源の活用となっている。

(第1項 食のまちづくりの推進 第2項 地域資源を生かした産業おこし)

10. パネラー候補案
1. 講演者
 2. ○○○○
 3. ○○○○
 4. ○○○○ 3人～最大4人

※雇用創出、地域産業という視点では例えば候補として

製造業に携わる人(食品等) 農業関係者、観光関係者等 現段階では未定

11. コーディネーター 魚沼市まちづくり委員会アドバイザー
広島経済大学 川村健一教授 (日程確保済み)